

2021 衆院選の情勢

東 北

升田と江渡、横一線

青 森

1区(自)
〈青森市、むつ市など〉
江渡 聡徳 66〇自^前前
升田世喜男 64〇立 元
斎藤 美緒 41 共 新
升田と江渡が横一線。升田は立民支持層の8割強をまとめ支持拡大に動く。前回は比例単独で当選した江渡は自民支持層の8割を固め、選挙区で自民議席の確保をめざす。斎藤は追い上げに懸命だ。

2区(自)
〈八戸市、十和田市、三沢市など〉
神田 潤一 51〇自 新

高畑 紀子 58〇立 新
田端 深雪 64 共 新

大島理森前衆院議長の後継となる神田がリード。企業回りなどを重ね自民支持層の8割をおさえた。高畑は政権批判票の上積みで躍起だ。田端は党勢拡大を図る。

3区(自)
〈弘前市、五所川原市、つがる市など〉
山内 崇 66〇立 新
木村 次郎 53〇自^前前
連続当選をめざす木村が先行。地道にミニ集会を重ねて自民支持層の8割強を固めた。立民支持層の8割弱をまとめた山内は非自民票の受け皿として支持拡大を目指す。

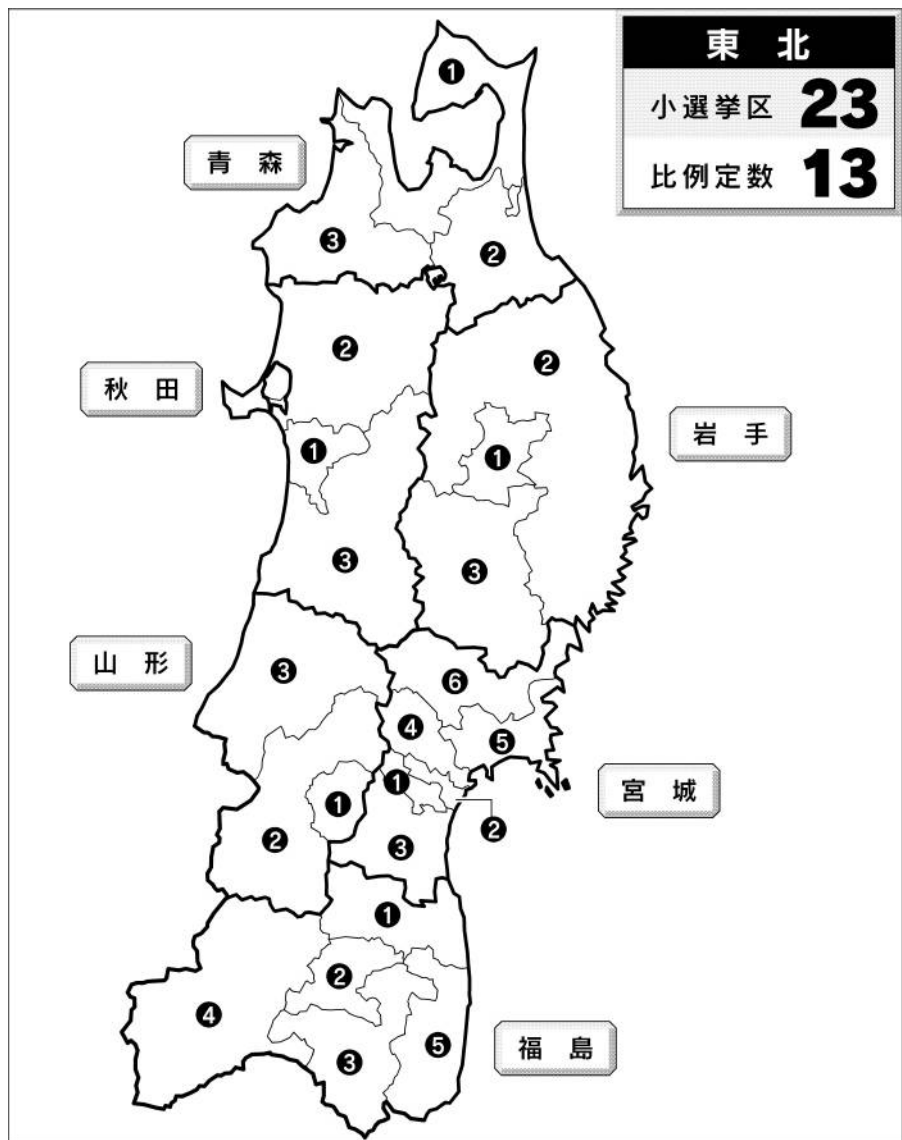
小沢、知名度で先行

岩 手

1区(希)
〈盛岡市、紫波郡〉
吉田 恭子 40 共 新
階 猛 55〇立 前

高橋比奈子 63〇自^前前

6期目を指す階が基盤固め。立民支持層の8割をおさえ有利な戦いを展開する。追い上げる高橋は自民、公明支持層の上積みと無党派層の取り込みが課題。吉田は政権批判票の取り込みをめざす。



候補者らの街頭演説を聞く有権者 (20日、神戸市北区)

2区(自)
〈宮古市、大船渡市、釜石市など〉
大林 正英 57〇立 新
荒川 順子 68 N 新
鈴木 俊一 68〇自^前前
岸田政権で財務相に就いた鈴木が実績、知名度で盤石だ。初挑戦の大林は立民支持層の7割強を固め、他の野党系や無党派層の支持拡大を急ぐ。荒川は独自の戦い。

3区(無)
〈一関市、花巻市、北上市など〉
藤原 崇 38〇自^前前
小沢 一郎 79〇立 前
強固な地盤を持つ小沢が高い知名度で先行。18期目の当選を目指す。前回は比例復活の藤原は自民、公明支持層の7割強をまとめた。保守層や無党派層の取り込みで追い上げる。

宮 城

鎌田と秋葉が競る

1区(自)
〈仙台市青葉区、太白区の本庁管内〉
岡本 章子 57〇立 前
春藤沙弥香 40〇維 新
土井 亨 63〇自^前前
大草 芳江 39 無 新
前回比例復活の岡本が安定した選挙戦。立民支持層の9割、共産支持層の8割をまとめ、無党派層などからの票の上積みめざす。土井は地方議員の支援で巻き返しを図る。春藤、大草は埋没回避に全力をあげる。

2区(自)
〈仙台市宮城野、若林、泉区〉
鎌田さゆり 56〇立 元
秋葉 賢也 59〇自^前前
林マリアゆき 47〇N 新
鎌田と秋葉が今回も激しく競る。前回無所属で出馬し惜敗した鎌田は立民支持層の9割をまとめた。自民支持層の7割強を固めた秋葉は保守票の上積みを図る。林は独自の戦い。

3区(自)
〈名取市、岩沼市、白石市など〉
大野 園子 33〇立 新
西村 明宏 61〇自^前前
浅田 晃司 74 無 新
西村がやや先行。元官房副長官の実績を訴え自民支持層の9割弱をまとめた。立民支持層の8割を固めた大野はSNS活用などで若年層の取り込みを図る。浅田は独自の戦い。

4区(自)
〈塩釜市、多賀城市、富谷市など〉
伊藤信太郎 68〇自^前前
船山 由美 53〇共 新
早坂 敦 50〇維 新
伊藤が厚い支持基盤と組織力で先行。自民支持層の8割弱を固め、7期目の当選をめざす。船山は野党共闘で立民支持層への浸透に懸命。元仙台市議の早坂が間隙を突く。

5区(無)
〈石巻市、東松島市、牡鹿郡など〉
安住 淳 59〇立 前
森下 千里 40〇自 新
党国対委員長の前安住が優位な戦い。立民支持層の9割強を固め政権批判票の上積みを図る。元タレントの森下は高い知名度を生かして地元を回り、保守層と無党派層の支持拡大を急ぐ。

6区(自)
〈登米市、気仙沼市、栗原市など〉
小野寺五典 61〇自^前前
内藤 隆司 63 共 新
当選7回の小野寺が盤石。農林水産業などの支持層を着々と固め、自民支持層の9割強をおさえた。内藤は自公政権への批判票を狙って立民支持層などの取り込みを目指す。

秋 田

緑川と金田、再び接戦

1区(自)
〈秋田市〉
富樫 博之 66〇自^前前
寺田 学 45〇立 前
寺田と富樫が横一線。前回は比例単独の寺田は立民支持層の9割をおさえ、他の野党支持層の取り込みを図る。復興副大臣に就いた富樫は知名度を生かし無党派層への浸透をめざす。

2区(自)
〈男鹿市、能代市、大館市など〉
金田 勝年 72〇自^前前
緑川 貴士 36〇立 前
緑川と金田が今回も接戦。前回惜敗の緑川は候補者擁立を見送った共産支持層を取り込む。5期目を狙う金田は自民、公明支持層の7割前後を固めた。党勢などの実績を生かし票の上積みをはかる。

3区(自)
〈横手市、湯沢市、由利本荘市など〉
杉山 彰 55 共 新
御法川信英 57〇自^前前
6期目を指す御法川が安定した戦い。自民、公明支持層の8割強をまとめ、一騎打ちで挑む杉山は共産支持層以外への浸透が課題。プロゲや動画の発信に力を入れ若者層への浸透を図る。

①緑川貴士36※前①原田和広48※新①金子恵美56※前①馬場雄基29※新①玄葉光一郎57※前①小熊慎司53※前①佐野利恵31※新①島居作弥47※新①内海太74※新
【公 明】①庄子賢一58※新②佐々木雅文40※新③曾根周作31※新
【共 産】①高橋千鶴子62前②船山由美53※新③藤本友里42※新
【維 新】①春藤沙弥香40※新①早坂敦50※新
【国 民】①加藤健一40※新②渡部勝博61※新
【れいわ】①渡辺理明51※新
【社 民】①久保孝喜67※新
【N 党】①林マリアゆき47※新

高橋比奈子63※前②鈴木俊一68※前②藤原崇38※前②土井亨63※前②秋葉賢也59※前②西村明宏61※前②伊藤信太郎68※前②森下千里40※新②小野寺五典61※前②富樫博之66※前②金田勝年72※前②御法川信英57※前②遠藤利明71※前②鈴木恵和139※前②加藤鮎子42※前②亀岡偉民66※前②根本匠70※前②上杉謙太郎46※前②菅家一郎66※前②前川恵46元
【立 民】①升田世喜男64※元①高畑紀子58※新①山内崇66※新①階猛55※前①大林正英57※新①小沢一郎79※前①岡本章子57※前①鎌田さゆり56※元①大野園子33※新①安住淳59※前①寺田学45※前

比例 定数13

自民「5」固める

自民は前回同様の5議席を固め、さらに上積みする勢い。立民は前回の旧立民より2議席多い5議席を確保する見通し。公明は1議席を獲得する公算が大きく、2議席に届く可能性もある。共産は前回と同じ1議席の見込み。
【自 民】①津島淳55前②江渡聡徳66※前②神田潤一51※新②木村次郎53※前②

北海道

石川香、中川にリード

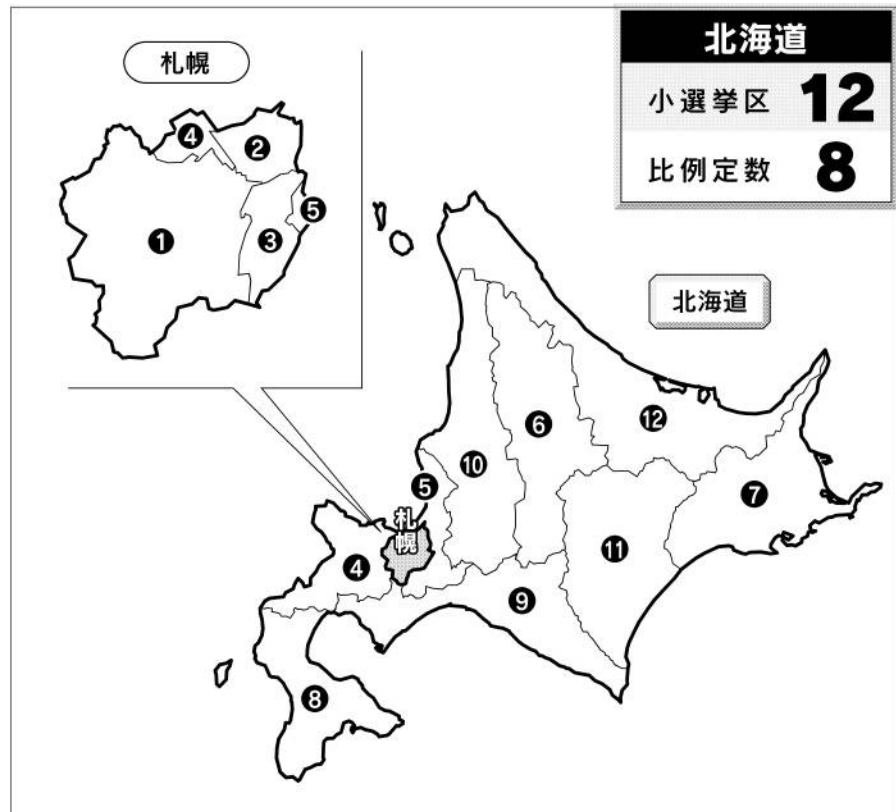
1区(立)
〈札幌市中央、南区、西区の一部など〉
小林 悟 57〇維 新
道下 大樹 45〇立 前
船橋 利実 60〇自^前前
2期目を指す道下と、前回は比例復活の船橋が競り合う。道下は立民支持層の8割を固め、共産の支持層もつかむ。船橋は自民、公明支持層の7割に浸透。小林は巻き返しを図る。

2区(自)
〈札幌市東区、北区の一部〉
高橋 祐介 41〇自 新
松本 謙公 62〇立 前
山崎 泉 48〇維 新
4月の補欠選挙で国政に再び咲いた松木が勢いを続けて先行。立民支持層の8割を固め、共産や国民の支持層への浸透も狙う。新人の高橋は無党派の取り込み

に懸命。山崎は切り込みを図る。

3区(立)
〈札幌市白石、豊平、清田区〉
高木 宏寿 61〇自 元
荒井 優 46〇立 新
小和田康文 51〇維 新
荒井と高木が競る。荒井聡元国家戦略相の地盤を継ぐ荒井は立民支持層の9割をおさえ、共産支持層の8割を固めた。国政復帰を目指す高木は自民支持層の8割に浸透。小和田は独自の戦い。

4区(自)
〈札幌市手稲区、小樽市など〉
大築 紅葉 38〇立 新
中村 裕之 60〇自^前前
中村と大築が激突。中村が3期の実績や知名度を生かし自民支持層の8割に浸透。本多平直元首相補佐官の議員辞職を受け、出馬した大築は立民支持層の



比例 定数8

自民・立民「3」確保

自民と立民がそれぞれ3議席を確保する見通し。前回は自民と旧立民が3議席ずつで、旧希望が1議席だった。公明は前回と同様の1議席を死守する公算が大きい。前回ゼロだった共産は1議席を獲得する可能性が高い。
【自 民】①鈴木貴子35前②渡辺孝一63前③船橋利実60※前③高橋祐介41※新③高木宏寿61※元③中村裕之60※前③和田義明50※前③東国幹53※前③伊東良孝72※前③前田一男55※元③堀井学49※前③中川郁子62※元③武部新51※前③鶴羽佳子治68※新

山 形

遠藤、基盤固め着々

1区(自)
〈山形市、天童市、上山市など〉
原田 和広 48〇立 新
遠藤 利明 71〇自 前
遠藤と原田が激しく競う。9期目をめざす遠藤は党選対委員長の職務で地元入りに制約。後援会が地盤を固める。原田は立民支持層の9割を固めるなど、野党統一候補として浸透を図る。

2区(自)
〈米沢市、東根市、村山市など〉
鈴木 憲和 39〇自^前前
加藤 健一 40〇国 新
4期目を狙う鈴木がやや先行。農政や災害対応などの実績を訴え、自民支持層の8割強をまとめ支持基盤の拡大を図る。加藤は立民支持層の7割強を固めるなど政権批判票への幅広い浸透をめざす。

3区(自)
〈酒田市、鶴岡市、新庄市など〉
梅木 威 62 共 新
阿部ひとみ 60 無 新
加藤 鮎子 42〇自 前
加藤がわずかにリード。自公の県議、市町村議の支援を得て基盤固めを進める。9月に出馬表明した無所属の阿部は立民支持層の6割に浸透。非自民系の取り込みを図る。梅木は巻き返しをかける。

福 島

玄葉が優位、上杉追う

1区(無)
〈福島市、相馬市、南相馬市など〉
金子 恵美 56〇立 前
亀岡 偉民 66〇自^前前
金子と亀岡が激しく競う。前回勝利した金子は立民支持層の9割を固め、政権批判票の上積みめざす。亀岡は自民、公明支持層をおさえ、無党派の切り崩しを図る。

2区(自)
〈郡山市、二本松市、本宮市など〉
馬場 雄基 29〇立 新
根本 匠 70〇自^前前

紙面の見方

小選挙区

1区(☆) ①
〈主な市、区、郡など〉
日経 太郎 50〇自^前前

⑧ ④⑤⑥⑦⑧⑨

比例代表

【自民】①日経花子50※^前前

② ⑧ ④⑤⑦⑧

▼名簿、記事中は敬称略
▼党派の略称は自＝自民党、立＝立憲民主党、公＝公明党、共＝共産党、維＝日本維新の会、国＝国民民主党、れ＝

調査の方法

調査は読売新聞社と協力して実施した。基礎データのみ両社で共有し、集計、分析、記事化はそれぞれが独自にした。
有権者への調査は日経リサーチが19～20日、乱数番号(RDD)方式で無作為に作成した固定電話と携帯電話の番号に調査員と自動音声による電話をかけた。

8割を固めた。無党派層の取り込みで競る。

5区(自)
〈札幌市厚別区、江別市、千歳市など〉
大津伸太郎 56 無 新
和田 義明 50〇自^前前
橋本 美香 51 共 新
池田 真紀 49〇立 前

3期目に向けて和田が前回比例復活した池田と激しく争う。自民、公明支持層の8割をおさえた和田はさらなる支持拡大を狙う。池田は立民支持層の8割を固めた。橋本は政権批判票に期待。

6区(立)
〈旭川市、名寄市、富良野市など〉
斉藤 忠行 30〇N 新
西川 将人 52〇立 新
東 国幹 53〇自 新
旭と西川が横一線。新人の東は道議の実績を訴え、自民支持層の8割に浸透。旭川市長を4期務めた西川は高い知名度で切り込みを図る。斉藤は独自性を訴える。

7区(自)
〈釧路市、根室市など〉
伊東 良孝 72〇自^前前
篠田奈保子 49〇立 新
石川 明美 70 共 新

自民連立会長で前職の伊東が後援会組織を固め、手強い選挙。新人の篠田は立民支持層の8割を固め、無党派層などの政権批判票の上積みめざす。石川は陣営引き締めで躍起だ。

8区(無)
〈函館市、北斗市など〉
逢坂 誠二 62〇立 前
前田 一男 55〇自 元
当選4回の実績を持つ逢坂は支持層が広く着々と票を固める。4年ぶりの国政復帰を目指す前田は自民支持層の7割をまとめた。農業票などの取り込みで力を入れる。

9区(自)
〈室蘭市、苫小牧市、登別市など〉
山岡 達丸 42〇立 前
堀井 学 49〇自^前前
山岡が支持基盤を拡大してリード。共産の候補者取り下げも後押しする。自民支持層の8割をまとめた堀井は3期の実績を生かし、無党派層の取り込み拡大を図る。

10区(公)
〈岩見沢市、滝川市、深川市など〉
神谷 裕 53〇立 前
稲津 久 63 公 前
神谷が稲津と接戦。前回惜敗し比例復活の神谷は自公政権の批判票の取り込みで支持を広げる。5期目をめざす稲津は7割をまとめた自民支持層へのさらなる浸透を図る。

11区(立)
〈帯広市、十勝総合振興局管内〉
石川 香織 37〇立 前
中川 郁子 62〇自 元
前回到り続く石川と中川の対決。前回勝利した石川は実績を訴えて支持基盤を固め優位に立つ。返り咲きをめざす中川は自民支持層の7割をまとめ、農業票の掘り起こしに躍起。

12区(自)
〈北見市、網走市、稚内市など〉
川原田英世 38〇立 新
武部 新 51〇自^前前
菅原 誠 48 共 新
強固な地盤を持つ武部が幅広い支持を得て優勢。立民と共産による候補一本化がまとまらず、川原田は立民支持層の8割を固め政権批判票の上積みを狙う。菅原は巻き返しをかける。

小熊 慎司 53〇立 前
菅家 一郎 66〇自^前前
小熊と菅家が今回も激戦。雪辱を期す小熊は立民支持層の8割強をまとめ、野党共闘で政権批判票の上積みを狙う。菅家は自民支持層の8割を固め、無党派層を掘り起こす。

5区(自)
〈いわき市、双葉郡〉
熊谷 智 42 共 新
吉野 正芳 73 自^前前
元復興相の吉野が実績と知名度で先行。自民、公明支持層の8割をまとめ、さらなる上積みで動く。野党統一候補の熊谷は共産以外の支持取り込みで、追い上げに躍起だ。

れいわ新選組、社＝社民党、N＝NHKと裁判してる 党弁護士法72条違反で、諸＝諸派、無＝無所属
▼選挙区の候補者の並べ方は届け出順。比例代表は政党を公示順の勢力順、候補者は名簿登載順に並べた
①選挙区の()は前回衆院選または直近の補選で議席を獲得した党派
②名簿登載順位
③氏名
④投票日(31日)翌日時点の年齢
⑤選挙区の○や比例代表の※は重複候補を示す
⑥党派
⑦自民党の前職は原則として派閥名を表記。㊟＝細田派、㊦＝竹下派、㊧＝麻生派、㊨＝二階派、㊩＝岸田派、㊪＝石破派、㊫＝石原派
⑧前職、元職、新人の別
⑨四角囲み文字は推薦政党

1つの小選挙区内で500人以上の有効回答を得るのを目標とした。調査員と自動音声の合計で18万6863人から有効回答を得た。
政党別の獲得議席数は過去の調査と投票結果との関係から予測モデルをつくり、シミュレーションで獲得する可能性のある議席の幅を推定した。この結果に取材による情勢判断を加えて最終的な予測議席数とした。